

## 令和 5 年度 第 2 回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和 5 年 8 月 2 日(水) 13 時 30 分から 14 時 05 分まで		
開催場所	大垣市民病院 2 病棟 1 階 会議室		
議 題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて		
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会長	沼口 諭
	副委員長	大垣歯科医師会会長	馬淵 直樹
	委員	大垣市医師会副会長	竹中 清之
	委員	安八郡医師会副会長	町田 崇史
	委員	大垣歯科医師会顧問	片野 雅文
	委員	大垣薬剤師会長	松本 正平
	委員	大垣市教育長	細江 敦
	委員	岐阜協立大学看護学部教授	神谷 真有美
	委員	西濃保健所長	河野 芳功
公開区分	公開		
傍 聴 人	なし		
概 要	<p><b>1. 報告事項</b></p> <p><b>(1)定例報告事項</b></p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、①<u>紹介率・逆紹介率</u>、②<u>地域連携を介した診察・検査件数</u>、③<u>開放型病床利用状況</u>、④<u>救急統計</u>、⑤<u>地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況</u>、⑥<u>地域連携クリニカルパス登録状況</u>、⑦<u>OMNet 利用状況</u>、⑧<u>地域の医療機関との連携相談実績</u>について報告した。</p> <p>①紹介率……5 年 4 月～5 年 6 月:69.7% 逆紹介率…5 年 4 月～5 年 6 月:148.7%</p> <p>②地域連携予約診察件数…5 年 4 月～5 年 6 月計:2,821 件 地域連携予約検査件数…5 年 4 月～5 年 6 月計:214 件</p> <p>③開放型病床登録医数…5 年 6 月末:160 人(医科 131 人、歯科 29 人) 開放型病床利用率…5 年 4 月～5 年 6 月:8.5% 緊急緩和ケア病床利用率…5 年 4 月～5 年 6 月:0.0%</p> <p>④救急受診患者数…5 年 4 月～5 年 6 月計:9,180 人(月平均 3,060 人) 救急車利用件数…5 年 4 月～5 年 6 月計:2,475 件(月平均 825 件) 救急入院患者数…5 年 4 月～5 年 6 月計:822 件(月平均 274 件)</p> <p>⑤地域医療従事者に対する研修…5 年 4 月～5 年 6 月開催数:3 回、院外受講者 22 人 *病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会等、診療報酬に関する委員会等 市民対象講演会等…5 年 4 月～5 年 6 月開催数:1 回、院外受講者 23 人</p> <p>⑥地域連携クリニカルパス登録状況…5 年 4 月～5 年 6 月登録総数 192 件</p>		

5 年 6 月末時点でのパス開始からの登録総数:12,248 件  
⑦OMNet 利用状況…5 年 6 月末時点の利用登録医療機関:122 機関  
診療情報閲覧に同意した患者総数:39,521 人  
⑧地域の医療機関との連携相談実績…5 年 4 月～5 年 6 月計:3,035 件  
医療相談実績…5 年 4 月～5 年 6 月計:464 件

2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。

(委員)

全体的に各科まんべんなく減っている感じがあるが、何か要因はあるのか。

(事務局)

要因はなかなか分からない。

(委員)

一時的なものなのか、3 ヶ月の様子見が必要。

(事務局)

ぜひご紹介いただきたい。

(委員)

消化器内科の紹介率は増えている傾向とかあるのか。

(事務局)

去年の今ぐらいから制限させてほしいという事をお願いして、それ以前に比べるとまだまだ非常に少ない。まだ患者さんを送ってはいけないのではないかと考えておられる先生がおみえになる。遠慮せずに送っていただきたい。

(委員)

歯科の紹介率が 50%で他の科に比べると少ない。直接患者さんが歯科口腔外科に電話されて予約をする分、我々のところから紹介する分が少なくなっているという理解でよろしいか。

(事務局)

患者さんから電話予約するかしないかで紹介率に違いが出てくる訳ではない。

(委員)

紹介率が今回、前年同月比で 7.2%改善しているというのはどういう要因と考えられるか。

(事務局)

紹介率としては良くなっているが、絶対数が全体に少なくなっている。分母も分子も少し小さくなって分母のほうの減りが大きい分、割合として少し改善しているように見える。

(委員)

開放型病床の利用がなかなか増えていないようであるが、開放型病床を使うという意識は薄いのか。

	<p>(事務局)</p> <p>当院の幹部が開業医さんを訪問しているが、開放型病床の話題は一切出ない。開放型病床を利用する有益性をかかりつけの先生方はどのように考えてみえるのか。</p> <p>(委員)</p> <p>逆にお伺いしたいが、例えば病床が混んでいて、優先的に入れてもらえるというメリットがあれば、当然、開放型病床をお願いしますとなるが、逆にあえてこういうめんどくさい手続きをしない方がかえって便利だという意識があるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>そういう事です。</p> <p>(委員)</p> <p>病院側として開放型病床の設置というのは義務付けられているのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>義務付けられている部分があるので、支援病院として開放型病床を利用しやすい状況をつくりましょうという事であるが、開放型病床は共同診療だが、なかなかかかりつけの先生方が病院にかかわられる事が少ない。これを本当にやりたいと思ってみえるのか。</p> <p>(委員)</p> <p>設置しなくてはいけないのに、稼働していなくても問題はないのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>問題ない。何%の利用率を求めるという事はこれに関してはない。</p> <p>(委員)</p> <p>あえて無理に開放型病床を使う必要はないのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>そういう事です。緊急緩和ケア病床とかは患者さんの状態が非常に差し迫った状態だろうと思うので、こちらは是非利用してもらいたい。</p> <p>(委員)</p> <p>分かりました。</p> <p>(委員)</p> <p>心不全の連携パスが始まったが、なかなか増えてこない。バックアップ体制とか改善をしてみえるのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>パスの導入というのは基本的に進みが遅いので、こんなもんだらうと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>COPD も広がらない状況があった。コロナが始まって呼吸器の先生も大変だったと思う。また体制を考えてもらうなどしてうまく回せるような事を考えていただきと思う。</p> <p>(委員)</p> <p>医療相談はほとんどが、がんに対する相談で、他はまずないという事でよろしいか。</p>
--	---

	<p>がんでもいろいろな相談があるかと思うが、社会福祉士、事務員、看護師の 3 職種で対応できるものなのか。</p> <p>(事務局)</p> <p>がんがすべてではないが、地域医療連携部の方に緩和ケアセンターがあり、認定看護師がいる。がん相談支援センターでは、MSW 等がいるので、その者たちが対応している。よろず相談・地域連携課の看護師も通常の医療相談的な部分については対応している。がんだけではないという事と、今いただいた 3 つの職種について対応できている。</p> <p>(2)紹介率向上への取り組みについて</p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <p>①令和 5 年度 4 月から 6 月までの患者さんからの電話予約実績は 192 件。地域別では大垣市の先生が約 9 割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約 4 割を占めており小児科、耳鼻咽喉科の順となっている。</p> <p>②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和 5 年度 4 月から 6 月まで 14 件。診療科別としては、循環器内科が 35.8%、糖尿病・腎臓内科、血液内科、呼吸器内科それぞれ 14.3%となっている。</p> <p>2) 委員から、上記の報告について意見・質問はなし。</p> <p>2. その他</p> <p>(委員)</p> <p>発熱外来は、今やっていないが、コロナ後遺症で疑わしい人はそのまま救急あてに送れば良いのか、総合内科か。</p> <p>(事務局)</p> <p>例えば、においがしないとかですと耳鼻科になるが、総合内科に全部まとめられても対応できない。</p> <p>(委員)</p> <p>生活保護者に対する後発医薬品の使用が徹底されていないので、徹底してほしい。</p> <p>(委員)</p> <p>いつも救急車の受入が非常に多いという感想を持っている。本当に有難い。救急医療体制もしっかりしている。</p>
次回開催	令和 5 年度第 3 回委員会は 11 月 24 日に開催予定とする。